

議会だより

みんなからの



第1回定例会概要
一般質問
町長の行政報告
議会の動き

2~3P
4~7P
8P
8P



平成28年第1回定例会は、
3月9日招集、会期を3月17
日までの9日間と決めた後、
各委員会の委員長報告があり、

2議員による一般質問（質問
の内容と答弁の要旨は457
ページに掲載）が行われまし
た。その後、平成27年度一般
会計補正予算及び5特別会計
補正予算の6件を審議し、原
案のとおり可決し、第1日目
を終了しました。

第6日目（第2日目から第
5日目までは休会）の3月14
日は、総務常任委員会に平成
28年度一般会計他5特別会計
予算、条例の制定2件、条例
の一部改正8件、過疎地域自
立促進市町村計画の策定につ
いて1件の計17件が付託され、
終了しました。

最終日の3月17日は、総務
常任委員会に付託された平成
28年度一般会計予算等17件に
ついて、委員長から「原案を
可とする」報告がなされ、報
告のとおり可決し、全ての日
程を終え定例町議会を終了し
ました。

平成28年度予算総額 47億1174万4千円を議決

■平成28年度予算の編成方針

町長の改選期にあたり、行
財政運営と町民の暮らしに直
結する必要経費を中心とした
骨格予算案の編成を本旨とし
つつ、歳入については、特定
財源の積極的な確保に努める
とともに、歳出については、
従来から継続的に計上してい
る各種団体の運営、育成に要
する負担金、補助金を始め、
学校運営及び教育、生涯学習
に必要な経常的経費さらには、
国及び道の補助事業として採
択されている事業並びに前年
度からの継続となっている事
業、また、施設等の管理運営
に要する経費、その他やむを
得ないものについては、政策
的なものであっても計上して
います。以上の基本的な考え方
に基づいて編成しました。

平成28年度各会計歳入歳出予算総括表		平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減率
一般会計		36億4054万円	40億5685万円	△10.3%
特別会計	国民健康保険事業	3億9362万円	4億3026万円	△8.5%
	後期高齢者医療事業	3846万円	4010万円	△4.1%
	介護保険	2億8027万円	2億6558万円	5.5%
	簡易水道事業	2億3195万円	2億3826万円	△2.6%
公共下水道事業		1億2690万円	1億1848万円	7.1%
総計		47億1174万円	51億4953万円	△8.5%

条例の制定

利用者負担額（保育料）の変更点

- ①算出基礎 所得税額→町民税所得割額
 ②算出時期 年1回（4月：前年所得税額）

↓
 年2回（4月～8月：前年度町民税所得割額）
 （9月～3月：現年度町民税所得割額）

③軽減措置

- 1) ひとり親等世帯
 - ・町民税所得割額 77,100円以下（年収約360万円未満）の場合
 =第1子半額、第2子無料
- 2) 多子世帯
 - ・町民税所得割額 77,100円以下（年収約360万円未満）の場合
 多子計算に係る第1子の年齢制限を撤廃
 ※第1子の基準を入所者から子どもに変更
 =第2子半額、第3子無料

○南富良野町情報公開・個人情報保護審査会条例

行政処分（許・認可、保護決定など）に関し、国民が行政不服を申し立てる制度、「行政不服審査法」が公平性の向上等の観点から改正が行われたため、新たに審査会を設置するものです。

設置するものです。
○南富良野町保育の必要性の認定基準に関する条例

子ども・子育て支援法の制定に伴い、保育等の必要性に関する基準（認定・必要量・利用者負担額）が新たに定められたことにより、現条例を廃止し、新たに条例を制定するものです。

条例の一部改正

間の運行区間を加える改正です。
○南富良野町立高等学校の通学自動車の設置及び管理条例

行政不服審査法の改正に伴い、不服申立てを審査する第三者機関として行政不服審査会の設置が義務付けられたため、関係条例の一部を改正するものです。

その他

○過疎地域自立促進市町村計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づき、平成28年度から平成32年度までの計画を策定したものです。

○南富良野町放課後子ども教室

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

「下金山地区放課後子ども教室」を加える改正です。
○南富良野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

○南富良野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方針に関する基準を定める条例

地方公務員法の一部改正に伴い、「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」の公表する項目に「人事評価、休業、退職管理」を新たに追加する等の改正です。

○南富良野町税条例
 町民税及び特別土地保有税の減免申請書に記載する事項から個人番号（通称マイナンバー）を削る改正です。

○南富良野町スクールバスの設置及び管理に関する条例
 起点を「金山除雪管理センター」とする金山から下金山学校」とする金山から下金山

問 平成28年度も保育料の負担軽減を図る考えは

答 負担増とならないよう軽減を図る

一般質問（要旨） 阿部 修一 議員



①保育料の算定

阿部 国の新支援制度の基準で、子どもの多い世帯で保育料が増額となつたが、本町は28年度も引き続き負担軽減を図る考えは。

町長 平成27年度に子ども・子育て支援法が制定され、認定の必要性等の基準が定められたとともに、施行令において、保育料の算出基準等が見直された。本町においては、子ども・子育て支援法で1年間の経過措置があつたことから、平成27年度は現行条例に基づき保育料の算出を行つてきました。

4月以降の軽減措置については、現在の国基準のおおむね75%の額に設定し、引き続き実施していくとともに、一部の市町村で多子世帯の保育料が増額となる要因である年少扶養控除の取り扱いについては、市町村の判断となつてのことから、従来同様に控除対象とし、保育料の増額とならないよう算出していきた

②まちづくり応援寄附金

阿部 本年度800万円を超える寄附があり、いろいろな事業の財源に充当して活用しているが、財源としてとても魅力的なものだと思ってきた。今後より多くの寄附が来る取り組みを行う考えは。

町長 まちづくり応援寄附金制度は、本町にとって大変有効な制度あり、貴重な財源となつてている。寄附をされる方々についても、税額控除はもちろんのこと、

加えて返礼品を目的として寄附を行う状況にもあることから、本町では、当初から寄附者に対しても、返礼品の対応を行つてきている。制度開始時の寄附総額が年間130万円余りであったが、現在は800万円を超す額となつていて。増額の要因としては、町ホーミページや観光



まちづくり応援寄附金返礼品の一部

ガイドマップへの掲載によるPR、また、昨年10月には、北海道商工会連合会の主催にて開催された北海道フェアへ参加してのPR、さらに今年度は寄附者への返礼品として、選択できる特産

阿部 本年度800万円を超える寄附があり、いろいろな事業の財源に充当して活用しているが、財源としてとても魅力的なものだと思ってきた。今後より多くの寄附が来る取り組みを行う考えは。事業の財源に充当して活用しているが、財源としてとても魅力的なものだと思ってきた。今後より多くの寄附が来る取り組みを行う考えは。

阿部 北海道新聞の報道で「南富良野高校の学生寮に旧道フェアへ参加してのPR、さらに今年度は寄附者への返礼品として、選択できる特産

返礼品のさらなる充実を図ることで、より多くの寄附額となるよう取り組んでいく。

③南富良野高校の学生寮

町長 現在、子どもの減少で、公立高校、私立高校ともに生徒募集に苦労しているが、本町の最高学府である南富良野高校を残していく、南富良野高校を必要とする地元の生徒がいる限りは、何とか残したいという思いで今まで取り組んできている。

近場だけで生徒を集めのが難しい状況になつていて、もう少し手を広げるとカヌーやカーリングをやりたくて南

富良野高校に入学を希望する生徒もいるので、学生寮を整備して、教育委員会と一緒に生徒を集めの努力をしていく

問 どのような経過で南富良野高等学校の学生寮を整備することが決まったのか

答 町外からの生徒を確保するため旧役場
独身寮を改修して学生寮を整備したい

一般質問（要旨）
酒井 年夫 議員



平成28年2月16日付の北海道新聞富良野版に「学生寮の整備を平成29年度に行い、力部希望者のために整備」とあるが、次の点について伺う。

① 学生寮の整備

酒井 教育委員会として、平成29年度に南富良野高等学校の学生寮を整備することが、どこの時点で決定したのか。

教育長 富良野地方は非常に生徒が少なくなつていて、いろいろなところに出向いて、南富良野高校をPRしているが、鷹栖町や滝川市から南富良野高校に来て、カヌーをやりたいという希望も既に出ていた。一方、平成27年度国の補正予算で地方創生の交付金制度が示され、この制度の交付金を活用し、寮を新設する可能性についても並行して検討をしてきた。

結果として、町担当課からこの交付金の採択があつたところであつたところ、寮を新設することについて、
成29年度に南富良野高等学校の学生寮を整備することが、どこの時点で決定したのか。
教育長 富良野地方は非常に生徒が少なくなつていて、いろいろなところに出向いて、南富良野高校をPRしているが、鷹栖町や滝川市から南富良野高校に来て、カヌーをやりたいという希望も既に出ていた。一方、平成27年度国の補正予算で地方創生の交付金制度が示され、この制度の交付金を活用し、寮を新設する可能性についても並行して検討をしてきた。

結果として、町担当課からこの交付金の採択があつたところであつたところ、寮を新設することについて、
成29年度に南富良野高等学校の学生寮を整備することが、どこの時点で決定したのか。
教育長 富良野地方は非常に生徒が少なくなつていて、いろいろなところに出向いて、南富良野高校をPRしているが、鷹栖町や滝川市から南富良野高校に来て、カヌーをやりたいという希望も既に出ていた。一方、平成27年度国の補正予算で地方創生の交付金制度が示され、この制度の交付金を活用し、寮を新設する可能性についても並行して検討をしてきた。



旧役場独身寮

② 寮整備のための国の補助
酒井 寄整備のために国との補助金を申請しているが、どういう内容の補助金を申請しているのか。

教育長 当初、新年度に入つてから生徒確保の取り組みを進めていく中で、感触をつかみながら町の単費で旧役場独身寮の部屋を改修していく考え方であつた。一方、平成27年度国の補正予算で地方創生の交付金制度が示され、この制度の交付金を活用し、寮を新設する可能性についても並行して検討をしてきた。

は、財源的には現時点で非常に難しいと考えている。したがつて、いろいろな制度を活用する、あるいは当初考へたいた町単費等々も視野に入れ行つていきたい。

③ 町外からの入学希望者
の実態と今後の見通し
酒井 ①現在、町外生徒の通学試験応募状況は。
②平成29年度以降、町外からの入学希望者の見通しは。
教育長 ①3年生が26人中13人、2年生が13人中11人、1年生が13人中7人、合わせて31人が町外から通学している生徒で、全体の59%となつてゐる。

③ 町外からの入学希望者
の実態と今後の見通し
酒井 ①現在、町外生徒の通学試験応募状況は。
②平成29年度以降、町外からの入学希望者の見通しは。
教育長 ①3年生が26人中13人、2年生が13人中11人、1年生が13人中7人、合わせて31人が町外から通学している生徒で、全体の59%となつてゐる。

②入学希望者25人中、町外から16人が受験している。
③富良野地方ばかりではなく、滝川市や鷹栖町からの入学希望者がいることや、北海道教育委員会が作成している公立高等学校配置計画によると、将来的に富良野地方の公立高校の学級減も視野に入つてゐるようなので、南富良野高校に対して生徒の入学希望は多くなると期待している。

④ユネスコスクールとは

酒井 初めて聞く話なので、どのような経過から計画されたのか。

教育長 ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示された理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校のことで、文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会で位置づけられている。文部科学省でも、ユネスコスクールを日本に広げていこうという動きで、現在、世界では182カ国、1万422校が承認され、国内でも939校が登録されている。

南富良野高校では、平成27年にユネスコスクールに加盟して、既に加盟をしている学校との情報交換や交流等を進め、高校の活動の幅を広げていくことを目的として申請しており、現在、承認されるのを待っている。

主な活動は、ユネスコスクールに加盟している学校とのネットワークを利用し、世界中の学校や生徒、教師の交流、情報交換を行い、人権問題や国際社会の確立を目指す

教育を行っていくこと。南富良野高校では既にイトウを調として、自然環境学習を行い、豊かな自然の中で意欲的に学び、自他を尊重し、健やかに生きる人間を育てることに教育目標としており、ユネスコの理念と合致するところがある。また、地域ボランティア活動や地域の施設を訪問し、社会参画意識を高め、協働する活動を行う中で、平和について世界の子どもたちに発信するなど、情報交換が有意義にできるもので、これらのことから高校では申請を行い、高校の名前を広めていく取り組みであると聞いている。

教育を行っていくこと。

⑤運動部の設置による生徒募集の見通し

酒井

運動部の設置による生徒募集は公立、私立とも完全に曲がり角に来ている。特に

私立高校は運動部を強くして、生徒を募集するということがかつてあったが、昨今は子どもの減少によって、自ら運動をするよりも見るスポーツへと変わってきている。このようなことで、競技によつては廃部になつてゐるところもあり、既にスポーツで生徒を募集する時代ではなくなつていて

また、この2つの部は規模校でも活動ができる競技でもあるので、今後もこれからの活動に大いに期待している。南富良野高校に行けばカーリングが

できるかも知れない。力

で、国際大会にも出場

できるかも

⑥硬式野球部設置に対する考え方

酒井

今の中学生3年生にアンケート調査を実施して、本年4月より硬式野球部を設置するということだが、ここまでマスコミに話したのだから、教育委員会として、それなりの目算があると思うので、次の点について伺う。

①野球は9人いなければできない競技です。アンケートの結果で1チーム作れる見通しになつたのか、開設した1年目は生徒が少ないので对外試合には行けませんということになるのか、ほかの高校との合同チームになるのか。

②今の高校のグラウンドの土は入れ替えなければ、硬式野球では使えない。少し硬くなればイレギュラーしてけがをする。少なくとも内野のダイヤモンドの土の入れが必要になつてくる。また、用具も軟式で使つていたものは使えないでの、全て硬式用に一から準備することになるが、どう考へているのか。

③児童・生徒の技術の向上、資質の向上は、指導者の力が非常に大きい。優秀な指導者がいれば伸びていく。指導者確保の目途がついているのか。

教育長 ①アンケートの結果で何人が入部希望というところまで把握していないが、高校の案内で各学校を回つたときに、男子生徒は、野球ができる学校に行きたいという希望が多かつたと聞いている。

また、以前は高校に軟式野球部が存在していたが、軟式ではない競技です。野球部に15人入部して単独チームができればベストですが、今の状況の中では、一遍にそこまでいきたい。高野連では、同

一支部内での合同チームを認めているので、少人数でも試合に出る形をつくるとすれば、緑峰高校、上富良野高校等々との合同チームを検討している。9人集まらなくても硬式野球の部活動をやつていこうという構えで、学校も準備している。



南富良野高等学校グラウンド

◆条例の一部改正（3件）

人事院勧告による給与費の改定です。

- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- ・南富良野町長等の給与に関する条例
- ・南富良野町職員の給与に関する条例

◆補正予算の主なもの

・年金生活者等支援臨時福祉給付金	1320万円
・年金生活者等支援臨時福祉給付金事務に係る臨時職員雇用経費、既存システム改修費等	144万円
・職員給与費	74万円
・選挙人名簿システム改修委託料	14万円

平成28年第1回

臨時議会

2月10日

町長の行政報告



■町立幾寅診療所医師の退任
平成25年4月より、幾寅診療所副所長として現在まで、地域医療にご尽力いた
だいております稻田浩医師から、一身上の都合により本年3月末をもつて退任し、離町したい旨の申し出がありました。



町立幾寅診療所

稻田医師には、これまで中村所長とともに、地域事情に根ざした診療を維持していました。今後も引き続き、本町の地域医療の推進にご尽力いただけるものとご期待をしていましたところであります。が、この度の申し出に対し、ご本人の心情を察するに、退任については事情やむを得ないものと判断をいたしましたところであります。

つきましては、引き続き安定した地域医療の提供が図られるよう、後任の医師確保に向けまして努力してまいりたいと考えておりますが、地域医療に係る医師確保につきましては、他自治体の例をみましても非常に困難な状況でありますことから、相当の時間を要することが予想されますので、4月以降の診療体制につきましては、中村所長と十分に連携を図りながら、3診療所の診療時間等を見直す中で、各地域での診療体制が整うよう対応してまいりたいと考えております。

- | | |
|------|---|
| 2月5日 | ○総務常任委員会○全員協議会 |
| 9日 | ○「手塚信一」陸上自衛隊開発実験団長を囲む会 |
| 10日 | ○第1回町議会臨時会
○「岡部俊哉」北部方面総監来町に伴う歓迎会（上富良野町） |
| 15日 | ○富良野地域人材開発センター連絡会議（中富良野町）
○富良野沿線市町村長・議会正副議長合同会議（中富良野町） |
| 16日 | ○北海道議会議員本間勲後援会「新春役員の集い」（富良野市） |
| 18日 | ○上川町村議会議長会定期総会及び上川総合振興局幹部との行政懇談会（旭川市） |
| 19日 | ○富良野広域連合議会定例会 |
| 26日 | ○環太平洋経済連携協定（TPP）に関する説明会（旭川市） |
| 27日 | ○下金山小学校閉校式 |
| 3月1日 | ○南富良野高等学校卒業証書授与式 |
| 3日 | ○議会運営委員会 |
| 5日 | ○金山小学校閉校式 |
| 9日 | ○第1回町議会定例会 |
| ~17日 | ○議会運営委員会○総務常任委員会
○全員協議会○議会広報特別委員会 |
| 15日 | ○南富良野中学校卒業証書授与式 |

- | | |
|-------|--|
| 3月18日 | ○南富良野小学校卒業証書授与式 |
| 19日 | ○金山小学校卒業証書授与式
○下金山小学校卒業証書授与式 |
| 21日 | ○隊友会富良野支部南部会総会 |
| 24日 | ○千里大学卒業式 |
| 25日 | ○上富良野町議会西村昭教議長の実母死去に伴う告別式（上富良野町） |
| 29日 | ○社会福祉協議会第3回評議員会 |
| 4月6日 | ○南富良野西小学校開校式 |
| 7日 | ○南富良野小学校入学式
○南富良野西小学校入学式
○南富良野中学校入学式 |
| 8日 | ○南富良野高等学校入学式
○陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う歓迎会（上富良野町） |
| 11日 | ○林野火災予消防対策協議会 |
| 14日 | ○千里大学入学式 |
| 15日 | ○ふらの農協第15回通常総代会（富良野市） |
| 17日 | ○南富良野高等学校教育振興会総会 |
| 22日 | ○総務常任委員会 |
| 27日 | ○南富良野町高齢者事業団通常総会 |

次の定例会は6月13日から17日の予定です。
詳しくは、議会事務局（☎52-2114）へお問い合わせください。